

授業科目(ナンバリング)	海外旅行実務(CB107) (実践的教育科目)			担当教員	※川口 祐子 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本講義は、総合旅行業務取扱管理者試験の受験を目指す学生のための授業である。旅行実務（航空・鉄道・保険・ホテル・クルーズ等）と法令の範囲をカバーする。過去問や練習問題を多く解いて総合旅行業務取扱管理者試験の傾向に慣れることを目標とする。							①⑧⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	総合旅行業務取扱管理者試験の旅行実務と法令の問題を解けるだけの実力がある。				・定期試験 ・課題 ・授業態度	20% 20% 10%	
情報収集、分析力	過去問から、総合旅行業務取扱管理者試験の出題傾向が予想できる。				・定期試験 ・課題 ・授業態度	10% 10% 10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	航空等の海外旅行実務や法令について説明可能なだけの知識を有することができる。				・定期試験 ・課題	10% 10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験(40%)、課題(40%)、授業態度(20%)により、総合的に評価する。フィードバックは授業中もしくはマナバで行う。課題の提出はマナバで行う。							
授業の概要							
総合旅行業務取扱管理者試験の海外旅行実務科目の内容を理解し、過去問や練習問題をこなす。授業範囲は旅行実務と法令の内容となるが、計算問題も多い。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は180分とする。							
教科書・参考書							
教科書&指定図書：『旅行実務シリーズ⑤出入国法令と実務 旅行実務』（株）JTB 総合研究所 参考書：ユーキャンの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン U-CAN（受験する人対象）							
授業外における学修及び学生に期待すること							
この授業は、担当教員の旅行会社勤務及び国内・海外添乗員の経験と知見に基づく実践的な科目であり、総合旅行業務取扱管理者試験を受験する人が対象です。試験対策問題を解くことが授業の中心となります。試験は問題が多く、内容を理解していても時間が足りず涙をのむ人が少なくありません。時間内に解くには、ひたすら練習問題をこなして慣れるしかありません。JTB 総合研究所『出入国法令と実務 旅行実務』の内容が基本ですが、出やすい問題を整理しているのがU-CAN『ユーキャンの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン』です。受験する人は参照されるといいでしょう。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	ガイダンス 都市・空港・航空会社コード・EU・シェンゲン協定・ユーロ	総合旅行業務取扱管理者試験の概要を確認する。 日本に発着している世界の航空会社と世界の主たる都市・空港等・航空会社コード等について学ぶ。	総合旅行業務取扱管理者とは何か調べておく。 コードとEUについて予習／復習を行う。
2	時差・フライト時間の計算	知っておくべき外国旅行事情について学ぶ。特に「時差」と航空機の「フライト時間」についてその概念と実際について理解を深める。	時差・フライト時間の計算について予習／復習を行う。
3	OAG時刻表・Minimum Connecting Times	前回学習したことについて、具体的に時刻表を使用して、所用時間や乗継時間を算出する。同ルートでも曜日によってノンストップの直行便があれば、途中寄港する便もある。	OAG時刻表と最低乗継時間について予習／復習を行う。
4	世界の鉄道	ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、オーストラリアの各鉄道の概要について。列車の等級と寝台車等の設備について。旅行者用の割引運賃について学ぶ。	世界の鉄道について予習／復習を行う。
5	ヨーロッパ鉄道時刻表・海外旅行保険	ヨーロッパ鉄道時刻表に記載されている記号等が指す意味を正確に読み取る。また海外旅行保険の重要性を知る。	ヨーロッパ鉄道時刻表と海外旅行保険について予習／復習を行う。
6	ホテル・クルーズ	ホテル・クルーズの種類とその特徴、等級、客室タイプ、料金建て等、ホテル・クルーズ関連用語を学ぶ。それらを通じて選択の基準がわかるようになる。	ホテルとクルーズについて予習／復習を行う。
7	小テスト	時差、フライト時間の計算、OAG時刻表、Minimum Connecting Timesについて小テストを行う。	小テストのための準備をしておきたいこと。計算が中心となる。
8	日本人の出入国・外国人の出入国	日本の出国手続と入国手続に際しての審査・検疫・税関などでの規則や手順を学ぶ。	出入国について予習／復習を行う。
9	帰国時の税関手続きと税額計算	日本人の入国時における旅具通関、携帯品等の免税・課税について基準表や簡易税率表等に則った正しい税額計算知識を得る。	帰国時の税関手続きと税額計算について予習／復習を行う。
10	旅券法(1)	旅券の新規発給申請等について学習する。	旅券の新規発給申請等について予習／復習を行う。
11	旅券法(2)	旅券の紛失・焼失の届出等について学習する。	旅券の紛失・焼失等について予習／復習を行う。
12	過去問と練習問題(1)	航空関係の問題を中心に過去問と練習問題を行う。	航空関係について予習／復習を行う。
13	過去問と練習問題(2)	鉄道・保険・ホテル・クルーズの問題を中心に過去問と練習問題を行う。	鉄道・クルーズ等について予習／復習を行う。
14	過去問と練習問題(3)	入国時・帰国時の問題を中心に過去問と練習問題を行う。	出入国について予習／復習を行う。
15	過去問と練習問題(4)	旅券の問題を中心に過去問と練習問題を行う。	旅券について予習／復習を行う。
16	定期試験	筆記試験	定期試験の準備をする。